【参考】企業会計基準委員会による修正会計基準第2号「その他の包括利益の会計処理」(2017年10月)からの改正点

2018年4月11日

## 修正国際基準(国際会計基準と企業会計基準委員会による修正会計基準によって構成される会計基準)

## 企業会計基準委員会による修正会計基準第2号「その他の包括利益の会計処理」

企業会計基準委員会による修正会計基準第2号「その他の包括利益の会計処理」(2017年10月31日最終改正)(以下「基準」という。)について次のとおりとする。

- (1) IFRS 第9号「金融商品」(2014年)(以下「IFRS 第9号(2014年)」という。)の公表により、IFRS 第7号「金融商品:開示」の原文が変更されている(基準第9項で示す IFRS 第7号第20項(a)(vii)及び基準第10項で示す IFRS 第7号第20項(a)(i))。当該変更は、対照表の「改正前」欄に反映している(青字、<del>変更前</del>(二重取消線)、変更後(二重下線))。
- (2) IASB により公表された会計基準等の当委員会による「削除又は修正」は、下波線(<u>追加部分</u>)及び取消線(<del>削除部分</del>)で示しており、これ まで「削除又は修正」を行ったものは、対照表の「改正前」欄と「改正後」欄の双方に反映している。
- (3) 基準における「IFRS 第9号(2013年)」を「IFRS 第9号(2014年)」へ置き換えている(基準第4項冒頭、基準第4-2項、基準第5項、基準第5項、基準第6-2項及び基準第6-3項)。これらについては、網掛けで示している。
- (4) IFRS 第 9 号 ( 2014 年 ) の原文の変更に伴い、これまで「削除又は修正」を行ってきた基準第 4 項で示す J-5.7.6C 項において、IAS 第 39 号「金融商品:認識及び測定」の第 59 項を IFRS 第 9 号 ( 2014 年 ) に新設された付録 A「信用減損金融資産」へと置き換えている。これらについても、網掛けで示している。
- (5) 上記以外に、適用時期、議決、結論の背景、字句の修正に係る改正を行っている(基準第10項で示す IFRS 第7号第10項、基準第12-4項、 基準第13-4項及び基準第15-4項)。これらについても、網掛けで示している。
- (6) 対照表では、以上のうち、(3)の「IFRS 第 9 号 (2013 年 )」の「IFRS 第 9 号 (2014 年 )」への置き換え(ただし、基準第 4 項冒頭を除く。)及び(5)の字句の修正を示していない(基準第 4-2 項、基準第 5 項、基準第 6-2 項、基準第 6-3 項及び基準第 10 項で示す IFRS 第 7 号第 10 項 )。

修正国際基準(国際会計基準と企業会計基準委員会による修正 会計基準によって構成される会計基準)

企業会計基準委員会による修正会計基準第2号 その他の包括利益の会計処理

> 2015年6月30日 改正2016年7月25日 改正2017年10月31日 最終改正2018年4月11日 企業会計基準委員会

修正国際基準(国際会計基準と企業会計基準委員会による修正 会計基準によって構成される会計基準)

企業会計基準委員会による修正会計基準第2号 その他の包括利益の会計処理

> 2015 年 6 月 30 日 改正 2016 年 7 月 25 日 最終改正 2017 年 10 月 31 日 企業会計基準委員会

## 会計基準

## 会計処理

その他の包括利益を通じて公正価値で測定する資本性金融商品への投資の公正価値の変動

- 4. IFRS 第9号「金融商品」(2014年)(以下「IFRS 第9号(2014年)」という。)におけるその他の包括利益を通じて公正価値で測定する資本性金融商品への投資の公正価値の変動の会計処理に関する規定について次の「削除又は修正」を行う(下波線は追加部分、取消線は削除部分を示す。)。
  - J-5.7.6C In addition to the types of events listed in the description of the term "credit-impaired financial asset" in Appendix A of IFRS 9, objective evidence of impairment for an investment in an equity instrument includes information about significant changes with adverse effects that have taken place in the technological, market, economic or legal environment in which the issuer operates, and

## 会計基準

## 会計処理

その他の包括利益を通じて公正価値で測定する資本性金融商品への投資の公正価値の変動

- 4. IFRS 第9号「金融商品」(2013年)(以下「IFRS 第9号(2013年)」という。)におけるその他の包括利益を通じて公正価値で測定する資本性金融商品への投資の公正価値の変動の会計処理に関する規定について次の「削除又は修正」を行う(下波線は追加部分、取消線は削除部分を示す。)。
  - J-5.7.6C In addition to the types of events listed in paragraph 59 of IAS 39. objective evidence of impairment for an investment in an equity instrument includes information about significant changes with adverse effects that have taken place in the technological, market, economic or legal environment in which the issuer operates, and indicates that the cost of the investment in the equity instrument

### 改正後

indicates that the cost of the investment in the equity instrument may not be recovered. A significant or prolonged decline in the fair value of an investment in an equity instrument below its cost is also objective evidence of impairment.

#### J-5.7.6C 項

IFRS 第9号付録A「信用減損金融資産」の事象の類型に加えて、資本性金融商品への投資についての減損の客観的証拠には、発行体が事業を営んでいる技術的、市場的、経済的又は法律的な環境に生じた、不利な影響を伴う重大な変化に関する情報で、当該資本性金融商品への投資の取得原価が回収できないかもしれないことを示すものが含まれる。資本性金融商品への投資の公正価値の取得原価を下回る著しい下落又は長期にわたる下落も、減損の客観的証拠となる。

## 開示

## その他の包括利益を通じて公正価値で測定する資本性金融商品への投資の公正価値の変動

- 9. IFRS 第7号「金融商品:開示」(以下「IFRS 第7号」という。)におけるその他の包括利益を通じて公正価値で測定する資本性金融商品への投資の公正価値の変動の開示に関する規定について次の「削除又は修正」を行う(下波線は追加部分、取消線は削除部分を示す。)。
  - An entity shall disclose the following items of income, expense, gains or losses either in the statement of comprehensive income or in the notes:
    - (a) net gains or net losses on:

. .

### 改正前

may not be recovered. A significant or prolonged decline in the fair value of an investment in an equity instrument below its cost is also objective evidence of impairment.

#### J-5.7.6C 項

IAS 第 39 号第 59 項の事象の類型に加えて、資本性金融商品への投資についての減損の客観的証拠には、発行体が事業を営んでいる技術的、市場的、経済的又は法律的な環境に生じた、不利な影響を伴う重大な変化に関する情報で、当該資本性金融商品への投資の取得原価が回収できないかもしれないことを示すものが含まれる。資本性金融商品への投資の公正価値の取得原価を下回る著しい下落又は長期にわたる下落も、減損の客観的証拠となる。

## 開示

## その他の包括利益を通じて公正価値で測定する資本性金融商品 への投資の公正価値の変動

- 9. IFRS 第7号「金融商品:開示」(以下「IFRS 第7号」という。)に おけるその他の包括利益を通じて公正価値で測定する資本性金融商 品への投資の公正価値の変動の開示に関する規定について次の「削 除又は修正」を行う(下波線は追加部分、取消線は削除部分を示 す。)。
  - An entity shall disclose the following items of income, expense, gains or losses either in the statement of comprehensive income or in the notes:
    - (a) net gains or net losses on:

. . .

### 改正後

investments in equity instruments designated at fair value through other comprehensive income in accordance with paragraph 5.7.5 of IFRS 9, showing separately the amount of gains or losses recognised in other comprehensive income during the period and the amount reclassified from accumulated other comprehensive income to profit or loss during the period.

. . .

#### 第 20 項

企業は、包括利益計算書又は注記のいずれかにおいて、次の 収益、費用、利得又は損失項目を開示しなければならない。

(a) 以下に係る正味利得又は正味損失

(中略)

(vii) IFRS 第9号の5.7.5項に従ってその他の包括利益を通じて公正価値で測定するものとして指定した資本性金融商品に対する投資(当期中にその他の包括利益に認識された利得又は損失の額と当期中にその他の包括利益累計額から純損益に振り替えられた額とを区分して示す)

(以下 略)

# 純損益を通じて公正価値で測定する金融負債の発行者自身の信用リスクに起因する公正価値の変動

10. IFRS 第 7 号における純損益を通じて公正価値で測定する金融負債 の発行者自身の信用リスクに起因する公正価値の変動の開示に関する規定について次の「削除又は修正」を行う(下波線は追加部分、取消線は削除部分を示す。)。

### 改正前

(vii) investments in equity instruments designated at fair value through other comprehensive income in accordance with paragraph 5.7.5 of IFRS 9financial assets measured at fair value through other comprehensive income, showing separately the amount of gains or losses recognised in other comprehensive income during the period and the amount reclassified from accumulated other comprehensive income to profit or loss during the period.

...

### 第20項

企業は、包括利益計算書又は注記のいずれかにおいて、次の 収益、費用、利得又は損失項目を開示しなければならない。

(a) 以下に係る正味利得又は正味損失

(中略)

(vii) IFRS 第9号の5.7.5 項に従ってその他の包括利益を通じて公正価値で測定するものとして指定した資本性金融商品に対する投資その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産(当期中にその他の包括利益に認識された利得又は損失の額と当期中にその他の包括利益累計額から純損益に振り替えられた額とを区分して示す)

(以下 略)

## 純損益を通じて公正価値で測定する金融負債の発行者自身の信用リスクに起因する公正価値の変動

0. IFRS 第7号における純損益を通じて公正価値で測定する金融負債 の発行者自身の信用リスクに起因する公正価値の変動の開示に関す る規定について次の「削除又は修正」を行う(下波線は追加部分、 取消線は削除部分を示す。)。

#### 

- An entity shall disclose the following items of income, expense, gains or losses either in the statement of comprehensive income or in the notes:
  - (a) net gains or net losses on:
    - financial assets or financial liabilities measured at fair value through profit or loss, showing separately those on financial assets or financial liabilities designated as such upon initial recognition or subsequently in accordance with paragraph 6.7.1 of IFRS 9, and those on financial assets or financial liabilities that are mandatorily measured at fair value through profit or loss in accordance with IFRS 9 (eg financial liabilities that meet the definition of held for trading in IFRS 9). For financial liabilities designated as at fair value through profit or loss, an entity shall show separately the amount of gain or loss recognised in other comprehensive income, and the amount recognised in profit or loss and the amount reclassified from accumulated other comprehensive income to profit or loss during the period.

. . .

#### 第 20 項

企業は、包括利益計算書又は注記のいずれかにおいて、次の 収益、費用、利得又は損失項目を開示しなければならない。

- (a) 以下に係る正味利得又は正味損失
  - (i) 純損益を通じて公正価値で測定する金融資産又は 金融負債。当初認識時にそのように指定されたか 又はその後に IFRS 第 9 号の 6.7.1 項に従って指定

- An entity shall disclose the following items of income, expense, gains or losses either in the statement of comprehensive income or in the notes:
  - (a) net gains or net losses on:
    - financial assets or financial liabilities measured at fair value through profit or loss, showing separately those on financial assets or financial liabilities designated as such upon initial recognition or subsequently in accordance with paragraph 6.7.1 of IFRS 9, and those on financial assets or financial liabilities that are mandatorily measured at fair value through profit or loss in accordance with IFRS 9 (eg financial liabilities that meet the definition of held for trading in IFRS 9). For financial liabilities designated as at fair value through profit or loss, an entity shall show separately the amount of gain or loss recognised in other comprehensive income, and the amount recognised in profit or loss and the amount reclassified from accumulated other comprehensive income to profit or loss during the period.

. . .

#### 第 20 項

企業は、包括利益計算書又は注記のいずれかにおいて、次の 収益、費用、利得又は損失項目を開示しなければならない。

- (a) 以下に係る正味利得又は正味損失
  - (i) 純損益を通じて公正価値で測定する金融資産又は 金融負債。当初認識時にそのように指定されたか 又はその後に IFRS 第 9 号の 6.7.1 項に従って指定

功工後	<b>北</b> 走台
改正後	改正前
された金融資産又は金融負債に係るものと IFRS 第	された金融資産又は金融負債に係るものと IFRS 第
9号に従って強制的に純損益を通じて公正価値で測	9号に従って強制的に <u>純損益を通じて</u> 公正価値で測
定されるもの(例えば、IFRS 第 9 号の売買目的保	定されるもの(例えば、IFRS 第 9 号の売買目的保
有の定義に該当する金融負債)とを区分して示	有の定義に該当する金融負債)とを区分して示
す。純損益を通じて公正価値で測定するものとし	す。純損益を通じて公正価値で測定するものとし
て指定された金融負債については、その他の包括	て指定された金融負債については、その他の包括
利益に認識した利得又は損失の金額と、純損益に	利益に認識した利得又は損失の金額と、純損益に
認識した金額及び当期中にその他の包括利益累計	認識した金額及び当期中にその他の包括利益累計
額から純損益に振り替えられた額とを区分して示	額から純損益に振り替えられた額とを区分して示
さなければならない。	<del>す</del> さなければならない。
(以下 略)	(以下略)
適用時期	適用時期
12-4. 2018 年 4 月に改正した本会計基準(以下「2018 年改正会計基準」	(新 設)
という。) は、2018 年 4 月に改正した「修正国際基準の適用」の別紙 1	(1/1) (1/2)
における IFRS 第9号(2014年)を適用する連結会計年度から適用す	
る。四半期連結財務諸表に関しては、同連結会計年度の第 1 四半期	
会計期間から 2018 年改正会計基準を適用する。	
•	
議 <b>決</b>	議・決
13-4. 2018 年改正会計基準は、第382回企業会計基準委員会に出席した	(新設)
委員9名全員の賛成により承認された。なお、出席した委員は、以下	
のとおりである。	
小 野 行 雄(委員長)	
小賀坂 敦(副委員長)	
川西安喜	
安井良太	
柳 橋 勝 人	
湯川喜雄	
吉田稔	

改正後	改正前
米 田 和 敬	
<u>渡部</u> <b>結論の背景</b>	結論の背景
	経緯
	京生 京年 
15-4. 2018 年改正会計基準では、エンドースメント手続においてノンリサイクリング項目に関連して「削除又は修正」を行っていないが、IFRS 第9号(2014年)の改正点を反映するために、「削除又は修正」の対象となっている要求事項や参考日本語訳の文言の修正を行って	(新設)
いる。	

以上